

## 資料 1

平成30年6月24日執行 滋賀県知事選挙投票事務従事者アンケート集計結果

投票

アンケート対象者 353名 提出者 351名 提出率 99.4%

## 投票所での係

	該当数	全体に占める割合 (%)
案内・受付係	75	21.4%
名簿照合係	86	24.5%
投票用紙交付係	94	26.7%
その他	93	26.5%
未記入	3	0.9%
合計	351	

1) 今回の投票事務について、頼まれ仕事ではなく、市職員である自らの本務であるという意識を持って取り組むことができましたか。

	該当数	全体に占める割合 (%)
十分できた	153	43.6%
できた	185	52.7%
どちらでもない	11	3.1%
あまりできなかった	0	0.0%
できなかった	2	0.6%
合計	351	

2) 事前に行った投票事務に関する研修は十分理解できましたか。

	該当数	全体に占める割合 (%)
十分できた	57	16.2%
できた	187	53.3%
あまりできなかった	20	5.7%
できなかった	2	0.6%
参加していない	85	24.2%
合計	351	

3) あなたの従事した投票所では、事務主任による指示のもとで効率よく事務が出来ましたか。

	該当数	全体に占める割合 (%)
十分できた	157	44.7%
できた	164	46.8%
どちらでもない	18	5.1%
あまりできなかった	0	0.0%
できなかった	0	0.0%
未記入	12	3.4%
合計	351	

注) 未記入は、事務主任であるため回答しなかったもの。

4) あなたが従事した投票所の従事者数は事務量に対して適正だと思いますか。

	該当数	全体に占める割合 (%)
多い	6	1.7%
やや多い	26	7.4%
適正	305	86.9%
少し少ない	12	3.4%
少ない	2	0.6%
合計	351	

5) 投票事務マニュアルを読み、当日の投票事務を理解できましたか。

	該当数	全体に占める割合 (%)
十分できた	72	20.5%
できた	254	72.4%
どちらでもない	21	6.0%
あまりできなかった	4	1.1%
できなかった	0	0.0%
合計	351	

6) 今回新たに作成した「選挙事務危機管理対応マニュアル」は、投票事務における不測の事態が生じた際の備えとして、有効なものでしたか。

(実際に不測の事態が生じたかどうかではなく、本マニュアルが不測の事態への備えとして有効であったかどうかについてお答えください)

	該当数	全体に占める割合 (%)
非常に有効だった	21	6.0%
有効だった	269	76.6%
どちらでもない	55	15.7%
あまり有効ではなかった	4	1.1%
全く有効ではなかった	2	0.6%
合計	351	

7) 今回新たに作成した「投開票事務におけるミス発生事例集」は投票におけるミスを事前に予防するうえで、有効なものでしたか。

	該当数	全体に占める割合 (%)
非常に有効だった	32	9.1%
有効だった	264	75.2%
どちらでもない	51	14.5%
あまり有効ではなかった	3	0.9%
全く有効ではなかった	1	0.3%
合計	351	

8) 今回の投票事務全般について反省点や改善点はありましたか。

(自由記述欄)

別紙のとおり

8) 今回の投票事務全般について反省点や改善点はありましたか。

【投票全般】

X 入場券の誤送付等があり、選挙管理委員会事務局はミスのないように細心の注意を払ったのか疑問に感じる。

- ・ 距離や有権者数を勘案し、投票所を統合して行く方がよい。(10人)
- ・ 当該時間の投票数や開票所までの距離を勘案し、投票時間を短縮する方がよい。(5人)
- ・ 投票事務については、今までのやり方が間違っているとは思わない。

アンケートの意見を受けての今後の対応 (案)

重要な選挙事務については、処理手順など詳細なマニュアルを作成し、ミスの発生の余地をなくす。また、二重チェック等も従来より丁寧に行う。

投票所の統合や、投票時間の短縮については再発防止委員会や、選挙管理委員会において慎重に検討を行う。

【危機管理】

O 投票箱等の送致後の不測の事態に備えて職員待機は必要だと感じた。

X 投票箱等の送致後に職員を待機させておく必要性がないと感じた。待機時に女性と男性とのペアになるのは避けたいと感じる。

- ・ 災害時の避難所に指定されている投票所における避難者受入等にかかる認識や判断基準を統一しておく必要がある。

アンケートの意見を受けての今後の対応 (案)

投票箱送致後の投票所での職員待機は、開票所において投票用紙の残数を確認するまでは必要であると考えため、今後も継続する。

【啓発】

X 広報車の音声が聞こえづらいという声があった。(2人)

- ・ 高校生のアルバイトを募集して投票事務に従事させることで、若年層にアピールしてはどうか。

アンケートの意見を受けての今後の対応 (案)

啓発全般については今後もより効率的なものとなるように検討していく。

【投票管理者・投票立会人】

O 投票管理者、投票立会人の方々が終始緊張感を持って従事してくださった。(2人)

X 投票立会人から、長時間がんにがらめにされとても辛かった、送致の際にも「長時間お疲れ様でした」の気持ちを感じられないとの声があった。(2人)

X 投票立会人に送致が完了するまで投票所で待機いただく必要はないと思う。

X 投票立会人は年配の方が多く、夜の送致は危ないという意見があった。

X投票管理者や投票立会人は自治会の役員が多く、投票所内で携帯電話の電源を切ることが危機管理上支障があるので検討してほしいとの指摘があった。

- ・事務主任は、投票管理者や投票立会人との連絡を密にする方がよい。(3人)

#### アンケートの意見を受けての今後の対応(案)

投票事務に支障のない範囲で投票管理者や投票立会人の方々の負担を減らせるように検討を行う。

##### 【事務従事者】

○事務従事者の人員が多めで、ゆとりをもって事務に取り組めた。(8人)

○マニュアルを読むことで危機意識をもって取り組めた。(2人)

X投票所により事務量が大きく異なりすぎている。(3人)

- ・事務主任経験者が1人いることで、ミス発生リスクを抑えられると思う。できれば当該投票所の経験者が望ましい。(14人)
- ・緊張感を持って業務にあたった。ミスは絶対に許されないというプレッシャーを感じた。(5人)
- ・自宅から近い投票所で従事できるようにしてほしい。(3人)
- ・事務主任を補佐するため、事務副主任を置いてはどうか。(2人)
- ・地元(当該投票区内)の職員が従事するほうが円滑に準備できる。(2人)
- ・職員にもそれぞれ事情があるので、委嘱する前に個別事情を聞いてほしい。(2人)
- ・意識の持ち方について、職員間で差があるように感じた。
- ・選挙事務に従事することに抵抗はないが、選挙事務を公務員の本務と規定することの法的根拠が理解できない。
- ・投票人の待ち時間が長くないよう心がけた。慌てるとミスに繋がるので、丁寧に対応するようにした。
- ・複数票の選挙や災害が重なったときには対応が困難だと感じた。
- ・期日前投票全般に携わり、当日投票の事務主任も行うことは、精神的にかなりきついものがあった。
- ・土日に本務のある職員の勤務の取扱いについて、統一した見解を事前に示してほしい。
- ・投票用紙自動交付機を初めて使用したため不安だったが、特に問題なく執行できた。
- ・土曜日に保育業務をする保育士や、育児時期の職員が従事しているので、職員の負担軽減を図る必要性を考慮し、主任者以外の事務従事者の一部について、職員以外で確保する方向の検討をしてはどうかと思う。

#### アンケートの意見を受けての今後の対応(案)

事務従事者の各投票所への配置については、投票事務にミスが生じない人員配置を大前提とし、職員個別の事情については、事務に支障が出ない範囲で配慮を行う。

##### 【説明会・マニュアル】

○投票録の書き方講座があったのはよかった。事前に投票録のチェック表を配布してほしい

い。(2人)

- 当日の投票事務は、マニュアルや研修等があり、十分に理解をして進めることができた。
- ×早い日程で事務主任の行うべき段取りについて説明してほしい。(7人)
- ×投票事務説明会で基本的な事項や細かな部分まで説明してほしい。(5人)
- ×マニュアルが細かく、ややこしい感じがする。マニュアルをまとめてほしい。(4人)
- ×マニュアルの表現について、初めての者でも理解できるようもう少し配慮がほしかった。(2人)

×危機管理対応マニュアルにおいて、投票事務従事中に地震による大規模災害が発生した場合の対応などについても、記載したほうがよいのではないかと感じた。

#### アンケートの意見を受けての今後の対応(案)

投票事務従事者に対する説明やマニュアルについては、より分かりやすく改善していく。

#### 【投票所】

- ×投票所の設営を業者委託して、より安全に投票できるようにしてほしい。(5人)
- ×投票所が狭く、環境が悪い。駐車場が狭い。(4人)
- ×経験者や男性職員を配置して円滑に設営できるようにしてほしい。(2人)
- ×選挙に応じ使用する部屋やレイアウトを変えたほうがよい。(2人)
- ×投票所を間違えた方に指定の投票所を案内することがあったが、口頭では説明しづらい。
- ×自治会の役員が合鍵を持っておられ、前日準備後に投票所内に入ることができる状態であった。

#### アンケートの意見を受けての今後の対応(案)

投票所環境について、問題が生じている投票所については、早い段階で改善を検討していく。

#### 【物品・諸用紙】

- ×18歳と19歳の投票者数を確認するため、どの投票人が18歳、19歳なのか選挙人名簿に示しておいてほしい。(5人)
- ×必要な文具が使える状態にあるか確認してほしい。ゴミ袋など必要な物品を用意してほしい。(4人)
- ×書類や備品の種類や数量が把握しにくく、確認しづらい。(3人)
- ×投票箱の選挙名等の表示をしておいてほしい。投票箱の錠のチェックをしておいてほしい。(3人)
- ×入場券の宛名部分を返却するのか、預かるのか決めておいてほしい。(2人)
- ×入場券を持参されない方にどのように対応するのかを周知してほしい。(2人)
- ×有権者数の多い投票所は、パソコンで名簿照会できるようにしてほしい。
- ×入場券の切り取りが硬いという意見が多数あった。
- ・土曜日の期日前投票の結果について、夜間に庁舎まで書類を受け取りに行くのではなく、電話連絡にできないか。

#### アンケートの意見を受けての今後の対応（案）

物品等の準備については、投票所において投票事務がミスなく効率的に行えるよう、配慮を行う。また入場券の取り扱いについては事前に周知を行う。

#### 【休憩】

X食事の際、事務体制が手薄になったときがあった。（2人）

X食事をとる場所を確保してほしい。

- ・茶菓子は不要ではないか。

#### アンケートの意見を受けての今後の対応（案）

事務体制や食事場所については個別の事案として検討していく。茶菓子の是非については今後の検討事項とする。

#### 【引続き確認】※

X引続き確認のことが分かりにくかった。

X引続き確認に時間がかかった。

#### アンケートの意見を受けての今後の対応（案）

引続き確認については、分かりにくい制度であるため、県の選挙の際は、事前の説明会で十分に理解してもらえるように配慮する。

#### 【開票所への送致・片付け】

O開票所の受領体制や誘導がしっかりしており、スムーズに送致できた。（3人）

X開票所が混雑して分かりにくかった。（2人）

X開票所への投票箱等の送致と物品の返却について、担当を分けて同時に行ってよいことを知らなかった。

X開票所へ同行する投票立会人の役割について、事前の説明と当日の現場の指示に相違があった。

- ・物品の返却場所は分かりやすい場所にしてほしい。（2人）

#### アンケートの意見を受けての今後の対応（案）

開票所への送致に関して、当日混乱が生じないような方法、マニュアルの見直しを実施する。

O＝肯定的な意見（良かった点） X＝否定的な意見（反省点） ・その他の意見

#### ※引き続き確認

知事選挙の有権者の条件が県内に住所を有することである為、甲賀市から県内の他市町へ転出した有権者に対して、投票日に引き続き県内に住所を有しているかを確認する手続きであり、今回の知事選挙においては53件の確認があった。